

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		フォーリーフ藤が丘校					公表日	2025年3月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	スケジュールに合わせて座席の配置を変えています。			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	曜日により偏りが出ないように利用定員や子どもの状況に合わせた配置が出来るようにしていきます。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	整理整頓と動線の工夫をしていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		体調などに応じて過ごしやすい場所を使うようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	5	現在改善に向けて動いています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	週1でミーティングを開き、話す場を設けています。	意見が少ないと一方的に話が進むまいようにしていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		サポートーズスクールなどのオンライン研修を行っています。	時間がなくあまり進められていないので、時間を作るようになります。		
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	作成時に職員で共有する機会を設けています。	その場にいなかった職員にも共有できるように考えています。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	フォーリーフ藤が丘校				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		S S Tや行事レク、季節の工作を役割分担してプログラムを立案しています。	担当以外の職員でも「やってみたい」という前向きな意見が出た場合、職員全員で実現に向けてサポートしていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	職員全体で役割分担を決めて支援前に共有していきます。	目的の共有もしていくことで、支援の意図を共通理解出来る様に務めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後、速やかに報告連絡相談をし、今後の方向性等を話し合っています。	送迎等で振り返りの時間を取れない職員との情報共有の時間を翌日等で取っていきたいと思います。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	1人の対象児に対し、半年に1度のモニタリングを実施しています。	支援計画に沿った支援を遂行するため、3か月に1度は見直し等の機会を設けています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		
連携の実現	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自分で選択する機会を確保すると共に、自己決定を尊重する姿勢で関わるよう意識しています。	自己選択できる機会を増やし、自己決定をする力を育んでいきます。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		保護者の方、必要に応じて学校や相談支援専門員の方と連携し、情報共有や支援法支援を考えています。	今後、医療機関との連携も目指していきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	フォーリーフ藤が丘校				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時刻時に先生と話をしたり、気になる部分には電話をし確認をしています。送迎時の安全等の確認を行っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	保護者の方や、相談支援専門員の方から情報を共有して頂き相互理解に努めています。	就学前に利用していた保育所等との連携を目指していきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	子供たちが進む可能性のある進路先の説明会に出席し、情報を得ています。	現在、障害福祉サービス事業所等への情報提供をする利用者はいませんでしたので、今後必要な場合には提供していきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	サービス担当者会議で正しい知見に基づいた貴重な意見を頂き、支援計画に役立てています。	今後、地域の支援センターと連携を図っていけるようにしていきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	相談支援専門員の方から情報共有をしていただいている。	児童クラブや地域の子どもとの交流の機会を作りたいと思っています。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	参加出来るものには参加しています。	パートも参加できる協議会には参加出来るようにしていきたいです。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に子どもの様子を話し課題についてお伝えし、支援計画の参考にしています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	ペアトレの実施や親が参加するワークショップを開いています。	
保護者への支援	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	保護者等で交流する機会や、保護者、家族が参加して楽しめるイベントを企画しています。	保護者同士で交流する目的等を明確にし、参加者を増やしていきたいと思います。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		フォーリーフ藤が丘校					公表日	2025年3月21日
説明等	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7						
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7						
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7						
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7						
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	フォーキャストフェスタを始めました。		今後、地域住民を招待できるフェスタを目指していきます。		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	緊急時対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を毎月一回開催しています。		保護者の方へ定期的に周知出来る様に務めています。		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	避難訓練の中に、避難場所を確認をする機会を設けています。		実際に避難の練習をする機会を増やしていきます。		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	利用契約時に確認しています。		定期的に状況の確認をしていきたいと思います。		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1			アレルギーに対しての研修も出来るようにしていきたいと思います。		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	施設内での安全管理を定期的に話し合い、解決していきます。		安全管理に必要な研修や訓練等には積極的に参加していきたいと思います。		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5						
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット、アクシデント報告書の作成を徹底しています。		ヒヤリハット、アクシデントかの判断を個人に委ねず、作成における判断基準を明確にしていきたいと思います。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	定期的に虐待防止研修に出席しています。		職員全体で研修内容を共有する機会を設けています。		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	研修を行い参加できなかった職員にも周知をしています。				